

# 高齢者施設の感染対策について

## 第6波の経験から見えてきた課題

- 感染拡大時（**クラスターの同時・多発発生時**）に、**初期対応（感染拡大防止や薬物治療）が遅れた施設**があった（要因）
  - ・一部の高齢者施設における感染管理や医療提供体制が脆弱であったこと
  - ・派遣できる感染管理の専門家や医療従事者が不足するため実地支援等が困難であったこと

## 対策1 高齢者施設の感染症に対する対応力の向上（患者発生時に備えた事前準備の徹底）

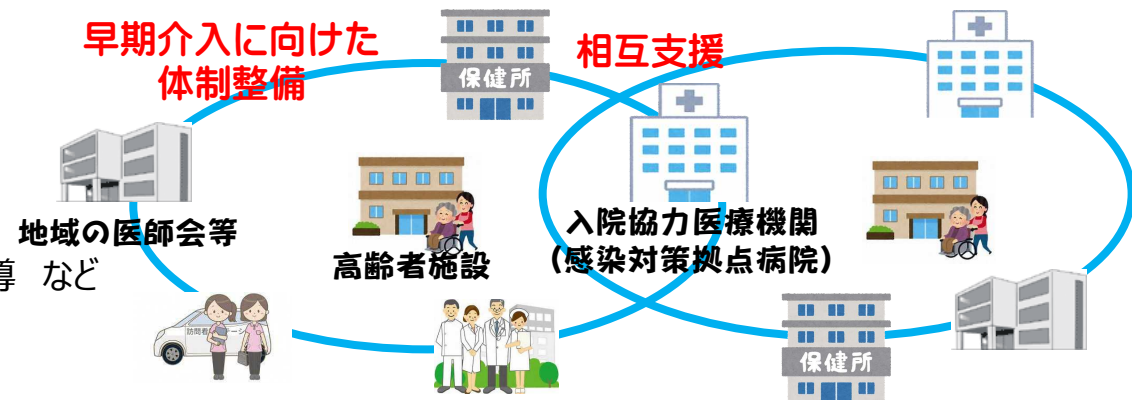
- 事前準備チェックリストの作成・配布
  - ・ICNや県医師会等の監修による事前に準備すべき事項に関するチェックリストを作成・配布（嘱託医等との連携による検査や治療協力医療機関の確保、入所者の服薬等の情報整理、介護人材の確保など）
- 研修会の開催
  - ・感染対策のリーダーを養成（医療機関、高齢者施設等の看護師）
  - ・チェックリストの解説や感染防護具の取扱い等の基礎的研修（高齢者施設の従事者等）



## 対策2 感染管理や医療支援体制の強化（早期に薬物治療が実施できる体制整備）

- 保健所単位での医療支援体制の強化と相互連携（感染対策向上加算の仕組みを活用）
  - ・入院協力医療機関（≒ICD,ICNが在職する医療関連感染対策拠点病院）、疑い患者入院協力医療機関、検査協力医療機関、地域の医師会等の職能団体、訪問診療・訪問看護ST、市町村、高齢者施設など）による協議体で支援体制を検討・強化

- 例）
- ・情報共有方法や指揮命令系統の確認
  - ・医療支援ができる人材育成の研修会の開催
  - ・外来での薬物治療を行う協力医療機関の確保
  - ・医療従事者派遣の輪番制の導入
  - ・治療薬の入手や、医療資機材の調達方法の確認
  - ・医療機関との連携が乏しい高齢者施設への訪問指導 など
- ↓
- ・保健所間の相互支援体制の整備



# 高齢者施設等の初期対応のイメージ

嘱託医や協力医療機関を中心に地域の拠点病院等※がサポートする医療提供体制

拠点病院等：地域のNW会議、ICN在職医療機関、入院協力医療機関、郡市医師会等

## 1 検査



嘱託医等※や保健所の指導の下で従事者や入所者の検査を行い感染状況を把握。

(※嘱託医等：嘱託医及び協力医療機関)

## 2 感染管理



施設の依頼に基づき、保健所が管内のICNと調整のうえ、感染管理を指導。  
(管内のICNが困難な場合は、本庁にて広域調整を行う)

## 3 患者の健康管理



施設内の看護師等が入所者の健康管理を行い、有症状者を嘱託医等に報告。

☞当該看護師等が感染等で不在の場合の対応方法をチェックリストで確認



報告を受けた嘱託医等や主治医がオンラインで処方。  
☞処方する医師が不在の場合のオンライン診療について地域で確認

## 4 薬物治療〔重症化予防〕



薬局から薬を交付



## 5 介護従事者の確保